

プログラム解説に替えて

ジャズという音楽ジャンルには、事前のプログラムを要求することは無粋な注文であろう。このたびは、いつものプログラム解説に替えて、松本哲平氏の正月帰郷に際して時間を割いていただき、対談を行った内容を抜粋ではあるが載せてみたい。

2016年12月29日 喫茶遠音において

1. ジャズには楽譜はないのでしょうか？

実はあります。(驚き) ただし、主となるメロディーとそれへのコードのみが著されたものです。例えば、箇条書きと言えます。ただそれだけでは文章とはなりません。後は演奏者の手腕となるわけです。

The image shows a handwritten musical score for three jazz standards. The first section is 'Afternoon in Paris' by J. Lewis, with a key signature of one flat and a 4/4 time signature. The second section is 'After You've Gone' by J.T. Layton, also in one flat and 4/4. The third section is 'Ain't Misbehavin'' by E. Waller, in one flat and 4/4. The score includes treble clef notation, chord symbols, and a key signature of one flat. The page is numbered 4 on the left and 2 on the right.

インターネットサイトより引用

2. 少なくとも目の前に楽譜がない状態で、演奏はどのようにして行われるのでしょうか？

ジャズ演奏は、テーマ（主題）とアドリブ（即興演奏）から成ります。テーマとは決まったメロディーであり、譜面に書かれたものに当たります。それを演奏した後、アドリブに入ります。アドリブはコード進行を保ちながら、各奏者がその場のイメージで演奏を行います。したがって奏者の腕とセンスの見せ場となります。その演奏の順序は決まっています。その受け渡しは、ある種の演奏パターンとか目線でのタイミングを採ります。時に

は、そのタイミングを取り損ねて苦笑するということが起こりますから、そんなことも見どころのうちでしょう。

日本の歌舞伎などの伝統芸能には決まった型があります。まずはそれを真似ることから始まるのですが、その型を破ることにより個性的な演舞が生まれてきます。それと同じことが言えるのではないのでしょうか。

私が最も重要と考えていることは、聴衆の皆さんとどうその場を共有するのか。常にそれを考えています。

3. ピアノはどのようなレッスンをされますか？

時間的（量的）なものはその日によってまちまちです。クラシック曲を弾く時もあります。主には、その時の心理状態、あるいはイメージしたものをどのようにピアノの旋律に載せるか、音のエネルギーとしてどのように伝えるのかを模索し研鑽しています。

自宅ではもちろんですが、教えている大学に優れたピアノがあり、そこで弾くことが多いですね。研究室にはほとんどいないんです。（笑い）

4. 郷里で演奏会を開くこのたびのお気持ちをお聞かせください。

2013年に初めて米子でライブを行ったのですが、観客はみんな知り合いであることの照れくささと、失敗できないというプレッシャーがあったように思います。しかし回を重ねるごとに、その気負いは薄れていき、最近は感じなくなってきました。それよりは素直に感謝の気持ちが大きく、どうぞ聴いてくださいとの感情が強いと思います。とにかく、他地区での公演とは違う、言葉にできない共同体意識というのでしょうか、違ったものがあることは間違いないと感じます。

5. 他のメンバーの方のエピソードとかありましたらお聞かせください。

最初に知り合ったのはベースの内田さんです。5年くらい前でしょうか。それからドラムの川島さんとも知り合うことが出来ました。私たちジャズミュージシャンは、横のつながりが強く、プロダクショナルなものではなくライブハウスにおける出会い等でトリオを結成しました。リーダーは私となっていますが、二人とも年上であり、先輩として教えを乞うことが多いと思います。

Ayukoさんとは2013年頃から知り合い、トリオの起爆剤のような存在だと感じています。彼女はゴスペルとの出会いからジャズシンガーの道を歩み始められたと聞いています。また、地元では和太鼓による活動もなさるようで、ライブ演奏に取り入れたとの話も聞いております。他にもラテン音楽、ボサノバにも精通しておられ、一番尊敬している方ですね。



喫茶「遠音」ジャズレコードを聴きながら